

看漫畫了解日本的

冠 婚 葬 祭

依田秀輝・著

(漫畫家)



鴻儒堂出版社發行

結婚指輪（マリッジ・リング） 41

引き出物 42

招待状を出すとき 43

ご祝儀 44

披露宴の司会を頼まれたら 45

受付を頼まれたら 46

カメラマンを頼まれたら 46

スピーチを頼まれたら 47

挙式・披露宴の衣装 48

新婦の装い（和装） 48

新婦の装い（洋装） 49

新郎の装い（和装・洋装） 50

お色直し 51

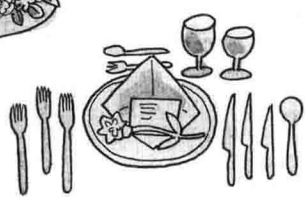
媒酌人・両親の装い 51

女性招待客の装い 52

男性招待客の装い 53

子どもの装い 53

平服の指定がある場合 53



媒酌人の当日のつとめ 54

媒酌人夫人の心得 55

神前結婚式 56

キリスト教式結婚式 58

仏前結婚式 60

オリジナルウエディング 62

挙式後の記念写真撮影 64

挙式後の親族紹介 64

披露宴のスタイル 65

披露宴の進行 66

二次会 70

新しい結婚の形 72

ハネムーン（新婚旅行） 74

あいさつ回り 75

結婚通知状 76

結婚祝いのお返し 76

結婚費用一覧表 77





依田秀輝系列作品陸續出版中，敬請期待！

看漫畫了解日本的冠婚葬祭

定價：300元

二〇一一年（民一〇〇）十月初版一刷

本出版社經行政院新聞局核准登記

登記證字號：局版臺業字第1292號

編著：依田秀輝

發行所：鴻儒堂出版社

發行人：黃成業

地址：台北市中正區10047開封街一段19號2樓

電話：02-2311-3810 / 02-2311-3823

傳真：02-2361-2334

漢口門市：台北市中正區10046漢口街一段35號3樓

電話傳真：02-2331-7986

郵政劃撥：01553001

E-mail: hjt903ems25.hinet.net

※版權所有・翻印必究※

法律顧問：蕭雄淋律師

本書凡有缺頁、倒裝者，請逕向本社調換

Boutique Mook No.914 Manga de Wakaru Kankon Sousai

Copyright © BOUTIQUE-SHA 2010 Printed in Japan

All rights reserved.

Original Japanese edition published in Japan by BOUTIQUE-SHA.

Chinese in complex character translation rights arranged with BOUTIQUE-SHA



鴻儒堂出版社設有網頁，歡迎多加利用
網址：<http://www.hjtbook.com.tw>

看漫畫了解日本的

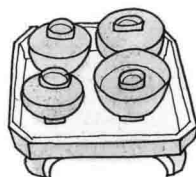
冠 冠 婚 葬 祭

目 錄

冠

孩子的出生及成長、進幼稚園、
升學、祝壽、喬遷等，
人生中的各種重要儀式

長壽祝い ちようじゆいわ	結婚記念日 けつこんきねんび	成人式 せいじんしき	卒園・卒業 そつえん そつぎょう	入園・入学 にゅうえん にゅうがく	七五三 しちごさん	初節句 はつせつく	初誕生 はつたんじょう	お食い初め おくゐそめ	お宮参り みやまい	お七夜・命名 しちや 命名	出産したら しゅつさん	帯祝い おびい
22	21	20	19	18	15	14	13	12	11	10	8	6

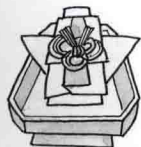


家族書・親族書 かぞくしよ しんぞくしよ	結納品 ゆいのうひん	結納 ゆいのう	仲人について なこうど	婚約 こんやく	挙式・披露宴までのスケジュール きよしき ひろうえん
40	38	36	35	32	30

婚

在人生大事——
結婚儀式的準備以及祝賀過程中，
各式各樣的相關程序及禮節

快氣祝い かいきい	開店・開業 かいてん かいぎょう	新築披露 しんちくひろう	上棟式 じやうどうしき	地鎮祭 じちんさい	昇進・栄転 しょうしん えいてん
28	27	26	25	24	23



葬

從葬禮到法事，
面對莊嚴肅穆的儀式，
更有許多不可忽略的禮儀規矩

危篤・訃報の連絡 82

葬儀の事前準備 84

葬儀社の決定 84

寺院・神社・教会の決定 85

仏名（仏式のみ） 85

末期の水 86

清拭 86

死に化粧 86

死に装束 87

遺体の安置 87

枕飾り 88

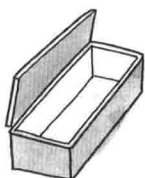
弔問のマナー 89

仏式葬儀の通夜 90

仏式の葬儀と告別式 92

仏式葬儀の出棺 94

仏式葬儀の火葬から骨上げ 95



喪服のマナー（男性） 97

喪服のマナー（女性） 98

香典のマナー 99

香典の渡し方 100

供物・供花 100

その他のマナー 101

神式葬儀 臨終から遷霊祭までの流れ 102

神式葬儀の葬場祭 103

神式葬儀 出棺祭から帰家祭までの流れ 105

キリスト教式葬儀（カトリック） 106

キリスト教式葬儀（プロテスタント） 108

密葬 110

無宗教葬（自由葬） 111

自然葬・散骨 112

生前葬 112

弔辞を頼まれたら 113

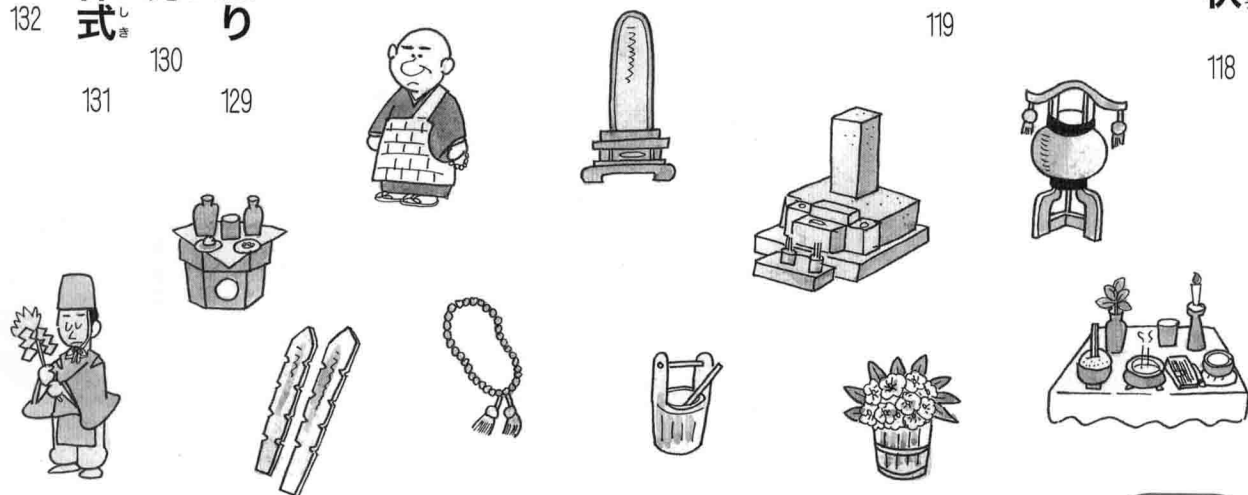
焼香の仕方 115

あいさつ回り 117

葬儀費用の支払い 117



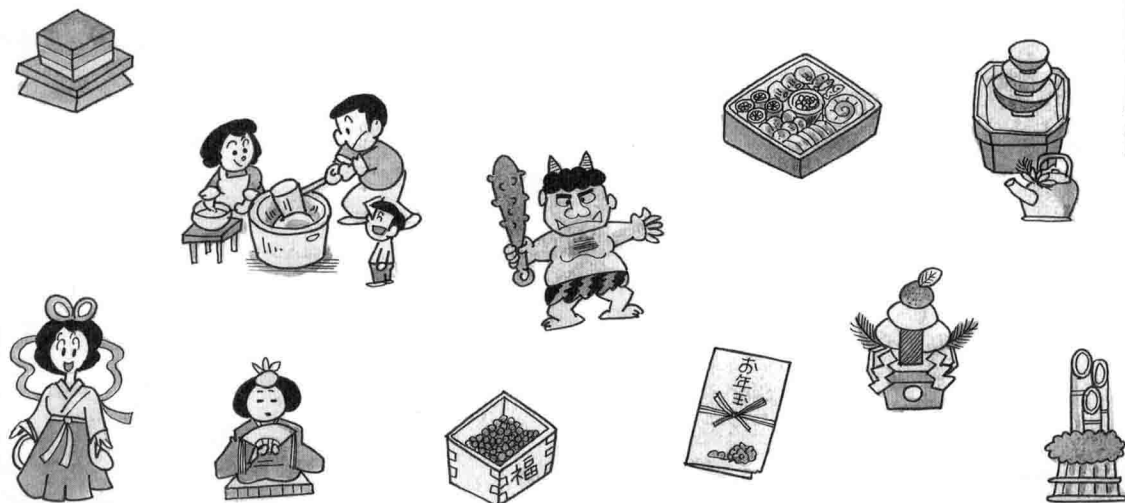
葬儀費用一覽表	キリスト教の追悼式	神式の靈祭の仕方	年忌法要のしきたり	仏式法要	お墓参り	仏壇	骨壺	位牌	納骨	墓を作る	墓地の購入	墓地の種類	忌服のしきたり	形見分け	遺品の整理	香典返し	礼状・あいさつ状
132	131	130	129	128	127	125	124	124	123	122	121	120	119	119	118	118	118



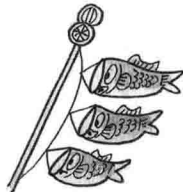
針供養	節分	小正月	鏡開き	七草がゆ	お年玉	年始回り	初荷・初売り	初夢	事始め	若水	初詣	お節料理	お雑煮	お屠蘇	正月飾り
145	144	143	143	143	142	142	141	141	141	141	140	139	138	138	136

祭

自古以來流傳至今，
融合在生活上的各種祭典及儀式・習慣等，
還有許多鮮為人知的相關知識



お月見 (十五夜)	お盆	土用の丑の日	お歳暮	お中元	七夕	父の日	時の記念日	衣替え	母の日	端午の節句	花祭り	花見	春のお彼岸	啓蟄	ひな祭り	バレンタインデー	初午
160	158	157	156	156	155	154	153	153	152	150	149	149	148	148	146	145	145



著者紹介

除夜の鐘	年越しそば	大晦日	煤払い	歳の市	酉の市	クリスマス	冬至	ハロウィン	恵比須講
167	167	166	166	165	165	164	163	162	162



※本書内容は針對日本國內最為普遍的一般習俗、禮儀等為主，加以介紹。

※不同時代、地區，不同家庭環境之下，有著各式各樣不同的傳統、風俗習慣，儀式的做法也可能年年有所改變或是簡化。在本書中所解說的只是一般而言的習慣，並非唯一的做法，請多包涵。

※本書中所介紹的禮金、奠儀等的金額、信件及文書的書寫方式等，只是一部分的例文，建議在實際上要送出時，依照職場或地區、親戚間的慣例或規定，與周遭的人先行討論。

編集 福田佳亮 丸山亮平 DTP みつばち堂

おもな参考文献 (順不同)

絵でわかる冠婚葬祭 (西東社) / 葬儀のしきたりとお金の事典 (法研) 冠婚葬祭の知識と心得 (東京書房) / 冠婚葬祭のマナー (世界文化社) / 冠婚葬祭のすべて (日本文芸社) / 冠婚葬祭のマナーと常識 (日東書院) / 冠婚葬祭事典 (日東書院) / 結納・結婚しきたり事典 (日本文芸社) / 結婚費用とブライダルプラン (マリッジハウス編) / 新ブライダル事典 (日本文芸社) / 二人でつくるウエディングガイド (成美堂出版) / 頼まれ仲人 (高橋書店) / 結婚の段取りとしきたりがわかる本 (成美堂出版) / ふたりでつくるオリジナルウエディング (新星出版社) / 冠婚葬祭 How To 事典 (講談社) / おつきあい&マナー事典 (学研) / 一生使える! 冠婚葬祭のマナー (PHP 研究所) / 葬儀・法要・相続完全 BOOK (世界文化社) / 日本のしきたり (廣済堂出版) / 歳時記・にほんの行事 (池田書店) / 和ごよみと四季の暮らし (日本文芸社)

結婚指輪（マリッジ・リング） 41

引き出物 42

招待状を出すとき 43

ご祝儀 44

披露宴の司会を頼まれたら 45

受付を頼まれたら 46

カメラマンを頼まれたら 46

スピーチを頼まれたら 47

挙式・披露宴の衣装 48

新婦の装い（和装） 48

新婦の装い（洋装） 49

新郎の装い（和装・洋装） 50

お色直し 51

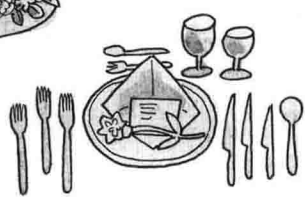
媒酌人・両親の装い 51

女性招待客の装い 52

男性招待客の装い 53

子どもの装い 53

平服の指定がある場合 53



媒酌人の当日のつとめ 54

媒酌人夫人の心得 55

神前結婚式 56

キリスト教式結婚式 58

仏前結婚式 60

オリジナルウエディング 62

挙式後の記念写真撮影 64

挙式後の親族紹介 64

披露宴のスタイル 65

披露宴の進行 66

二次会 70

新しい結婚の形 72

ハネムーン（新婚旅行） 74

あいさつ回り 75

結婚通知状 76

結婚祝いのお返し 76

結婚費用一覧表 77



葬

從葬禮到法事，
面對莊嚴肅穆的儀式，
更有許多不可忽略的禮儀規矩

危篤・訃報の連絡 82

葬儀の事前準備 84

葬儀社の決定 84

寺院・神社・教会の決定 85

仏名（仏式のみ） 85

末期の水 86

清拭 86

死に化粧 86

死に装束 87

遺体の安置 87

枕飾り 88

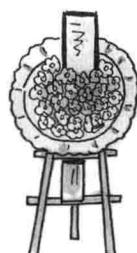
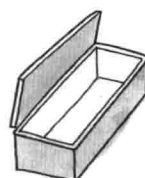
弔問のマナー 89

仏式葬儀の通夜 90

仏式の葬儀と告別式 92

仏式葬儀の出棺 94

仏式葬儀の火葬から骨上げ 95



喪服のマナー（男性） 97

喪服のマナー（女性） 98

香典のマナー 99

香典の渡し方 100

供物・供花 100

その他のマナー 101

神式葬儀 臨終から遷霊祭までの流れ 102

神式葬儀の葬場祭 103

神式葬儀 出棺祭から帰家祭までの流れ 105

キリスト教式葬儀（カトリック） 106

キリスト教式葬儀（プロテスタント） 108

密葬 110

無宗教葬（自由葬） 111

自然葬・散骨 112

生前葬 112

弔辞を頼まれたら 113

焼香の仕方 115

あいさつ回り 117

葬儀費用の支払い 117



お月見 (十五夜)	お盆	土用の丑の日	お歳暮	お中元	七夕	父の日	時の記念日	衣替え	母の日	端午の節句	花祭り	花見	春のお彼岸	啓蟄	ひな祭り	バレンタインデー	初午
160	158	157	156	156	155	154	153	153	152	150	149	149	148	148	146	145	145

160



著者紹介

168

除夜の鐘

167

年越しそば

167

大晦日

166

煤払い

166

歳の市

165

酉の市

165

クリスマス

164

冬至

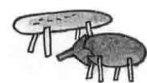
163

ハロウィン

162

恵比須講

162



※本書内容は針對日本國內最為普遍的一般習俗、禮儀等為主，加以介紹。

※不同時代、地區，不同家庭環境之下，有著各式各樣不同的傳統、風俗習慣，儀式的做法也可能年年有所改變或是簡化。在本書中所解說的只是一般而言的習慣，並非唯一的做法，請多包涵。

※本書中所介紹的禮金、奠儀等的金額、信件及文書的書寫方式等，只是一部分的例文，建議在實際上要送出時，依照職場或地區、親戚間的慣例或規定，與周遭的人先行討論。

編集 福田佳亮 丸山亮平 DTP みつばち堂

おもな参考文献 (順不同)

絵でわかる冠婚葬祭 (西東社) / 葬儀のしきたりとお金の事典 (法研) 冠婚葬祭の知識と心得 (東京書房) / 冠婚葬祭のマナー (世界文化社) / 冠婚葬祭のすべて (日本文芸社) / 冠婚葬祭のマナーと常識 (日東書院) / 冠婚葬祭事典 (日東書院) / 結納・結婚しきたり事典 (日本文芸社) / 結婚費用とブライダルプラン (マリッジハウス編) / 新ブライダル事典 (日本文芸社) / 二人でつくるウエディングガイド (成美堂出版) / 頼まれ仲人 (高橋書店) / 結婚の段取りとしきたりがわかる本 (成美堂出版) / ふたりでつくるオリジナルウエディング (新星出版社) / 冠婚葬祭 How To 事典 (講談社) / おつきあい&マナー事典 (学研) / 一生使える! 冠婚葬祭のマナー (PHP 研究所) / 葬儀・法要・相続完全 BOOK (世界文化社) / 日本のしきたり (廣済堂出版) / 歳時記・にほんの行事 (池田書店) / 和ごよみと四季の暮らし (日本文芸社)

か ん
冠

こ ん
婚

そ う
葬

さ い
祭

もともと「冠」とは、成人した男子を祝う「^{げんぷく かかん}元服加冠」を表すものでした。今では、子どもの成長や長寿のお祝いなど、人生の節目となるさまざまな儀式を指します。



大人になれば厄払いや長寿の祝いなど。



子どもの時には帯祝いからはじまってお宮参り、初誕生、初節句、七五三。



人の一生の節目となるお祝いごとはいくつもあります。



この章はマナーコンサルタントの私たち2人がご案内いたします。



お祝い事は喜びを分かち合うようにしたいものです。



また学校や仕事、功労や結婚に関係するお祝いもあります。



これらの行事のほとんどが昔からの慣習として引き継がれてきたものです。

おびいわ 帯祝い

妊婦が妊娠5ヶ月の最初の戌の日に腹帯を巻くことを「帯祝い」といいます。妊娠を祝うとともに、新しい命の健康と安産を祈願します。

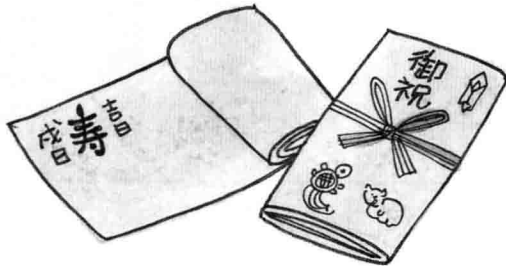


戌の日に行うのは、犬のお産が軽くてすむことにあやかっただけです。



でも特にこだわる必要はありません。この日を目安に妊婦の体調のよい日に行えばよいでしょう。

正式には絹の紅白の帯二筋と白木綿一筋を重ねて紅白の蝶結びの水引きをかけ、帯の端に赤い字で「寿」「吉日」「戌日」と書き入れます。

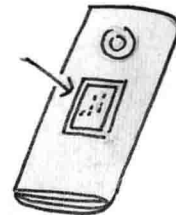


「岩田帯」は、長さ2・5メートル（七尺五寸三分）ほどの絹、または木綿の帯で、妻の実家から贈ります。が、子宝に恵まれた夫婦から贈ってもよいという習わしもあるそうです。

このときに巻くのが「岩田帯」で、岩のようにたくましく、元氣な赤ちゃんを、という願いが込められています。また「結肌帯」「斎肌帯」とも呼ばれます。



岩田帯は安産の神様を祀る神社や、デパートなどで求めることができます。



（ごふ入り）
水天宮安産御守

腹帯には胎児の位置を正しく保ち、保温や妊婦の動きを楽にする効用があります。



でも最近では家族で妊娠を祝い、妊婦本人に大事な体であることを自覚させるというセレモニータンな意味合いが強くなっています。

正式な帯祝いの手順

① 上座に座った妊婦に帯役の夫婦が白木の台に乗せた岩田帯をささげます。

② お祝いの言葉を述べた後、帯役の夫は退室します。

③ 妊婦に帯役の妻が形式的に帯を巻きます。

④ 両親を交えて祝いの膳につきます。



いわたおひ
 岩田帯の巻き方

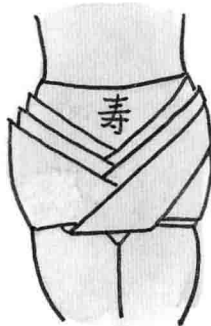
①「寿」の文字入りの帯は文字が中央にくるように巻き始めます。



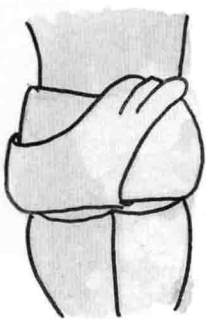
②一回りしたら手を差しこみ中央で折り直すようにして巻きます。



③下にずらしながら同じ要領で3回ほどおなかに巻きつけます。



④巻き終わりの帯の余り部分は背中側に挟みこみます。



最近では伝統的なしきたりにつとめて帯祝いをする家庭は少なくなりました。妊婦に肉体的、精神的に負担がかからないように夫婦2人だけの水入らずで、または両親、兄弟など気のおけない身内を招く程度がよいでしょう。



実際には腹帯は使いにくくおなかの安定や保温のためにはマタニティガードルの方が便利です。



帯祝いの報告は勤務先の上司や頼まれ仲人といった関係の人には後日機会があった折に知らせる程度でじゅうぶんです。


 おひわ
 帯祝いの贈り物

帯祝いに招かれたらお祝いの品を持参しますが、今後役に立つ実用的なものがよいでしょう。

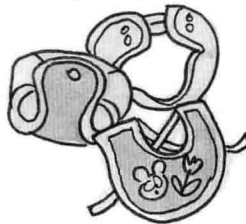
マタニティウェア



育児書



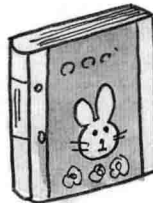
ベビーウェア



CD



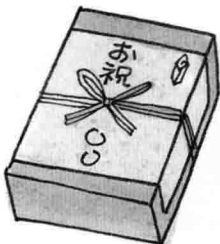
アルバム



ギフトカード



お祝い品の表書きを「お祝い」「寿」「戌」などとしします。



出産したら

出産の報告は次の要領で
します。

赤ちゃん
の性別・
体重・
母子の
健康状態

① 最初に双方の両親にします。

② 次に仲人さんにします。夫や自分の会社には健保から出産一時金の給付や会社からのお祝いがあるので、その事務手続きのため早めに上司に連絡しておいた方がよいでしょう。



④ その他の友人・知人へは床上げ(※)をしてからハガキで出産報告をするか、年賀状などで知らせます。

③ 親戚・親しい友人へはお七夜が過ぎ、退院してからします。



病院へのお礼

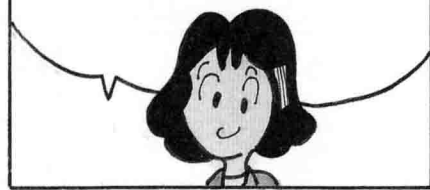
医師には5000～1万円のお礼をします。しかし、今ではお礼をすることは少なくなっています。

看護師には全員にいきわたるような菓子折などがよいでしょう。

病院にはお礼を禁じているところもあります。



出産の費用は夫婦が負担します。また妻がお産で実家の世話になった場合は、その期間の生活費を含めた必要経費を実家の母に渡すのが最近の常識です。



妻の実家のお世話になった場合夫は、産後母子を迎えに行くときにお礼の品を持参するのがマナーです。



夫の両親は妊婦が実家に帰った直後と、出産後の最低2回は、妻の実家にあいさつに伺いたいものです。



※出産の後、回復してから寝床を上げること。

出産祝いのマナー

親戚や友人が出産後のお祝いに伺うのは、産後1ヶ月を過ぎて、母子ともに落ちついたころがベストです。体調や都合を電話で聞いてから伺います。



出産祝いに喜ばれるもの



アルバム



おもちゃ



バスタオル



ベビーウェア



など CD



離乳食用食器



よだれかけ

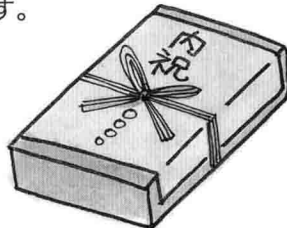


入浴用品

表書きは「御祝」とし、赤ちゃんあての名前で贈ります。

内祝い

お祝いをいただいた方には、生後1か月前後を目安に内祝いを贈ります。内祝いの品物はいただいたお祝いの半額程度が目安です。



贈り物には「内祝」とし、表書きは赤ちゃんの名前にします。

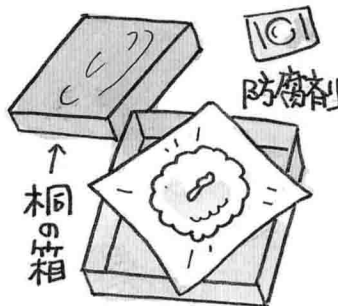
読みにくい名前には読みがなをふりましょう。

仲人へは持参するのが正式です。



へその緒の保存

① 防腐剤とともに桐の箱に入れます。



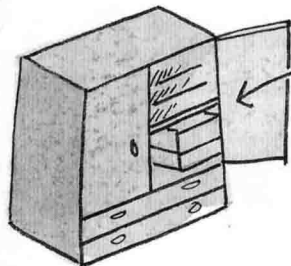
② 表書きし、名前・生年月日を書きます。



③ 紅白の水引きで結びます。



④ 引き出しなどに保存します。



よほど親しい間柄でない限りお見舞いは避け、手紙を送る程度にします。

お知らせは実家を通してしてもらいます。出産のお祝いをいただいていた場合は、できるだけ早く結果を知らせてお礼の言葉を述べます。

死産や流産だったら



お見舞いをするなら...



お祝いは次の機会のときに使わせていただきます。

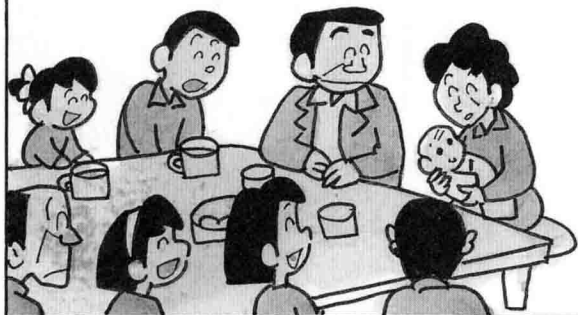


お七夜・命名 しちや

生後七日目の
お祝いが「お七夜」
です。この日に名前を
正式に決めて
前途を祝います。
ちょうど母子の
退院のころで、
命名式のお祝いを
行います。

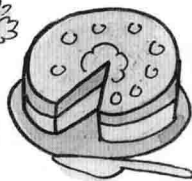


昔はかなり盛大に行われていましたが、今は
父親、赤ちゃんの祖父母、兄弟など内輪で祝う
ケースがほとんどです。



お七夜に招待されたら
ちよつとした手みやげ
を持参します。

ケーキ



花



果物



清酒



など

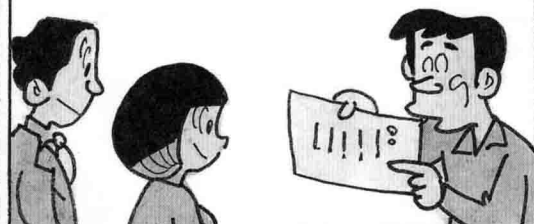
現金なら、表書きは
「祝お七夜」「寿」
「御酒肴料」などに
します。



子どもの名前は両親がつける
のが一般的です。



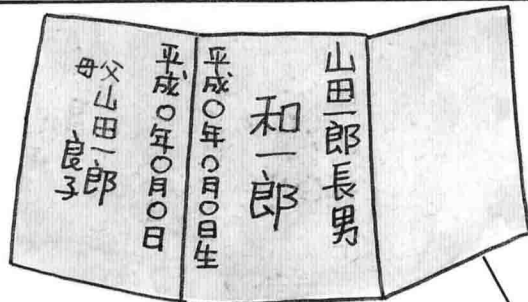
名付け親を頼まれたら、いくつか候補を
あげ、両親に任せるのがよいでしょう。



出生届は
赤ちゃんが
誕生した日を
含め、14日
以内に役所に
提出します。

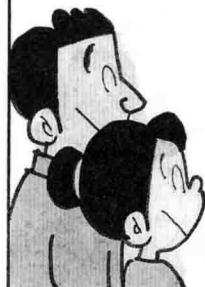


正式の命名書



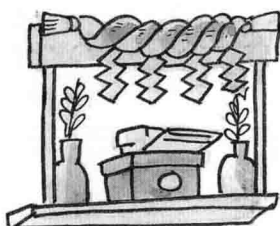
裏側に
「命名」と書く

命名 和一郎
平成〇年〇月〇日生
略式の命名書



命名書の飾り方

神棚や床の間の目立つ所に置く



かもい
鴨居に貼る

